

## 契約当事者市町別の相談件数

令和7年度（令和7年4月～令和7年12月）

市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比	市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比
津市	336	276	60	121.7%	朝日町	12	11	1	109.1%
四日市市	136	135	1	100.7%	川越町	21	13	8	161.5%
伊勢市	60	43	17	139.5%	多気町	21	21	0	100.0%
松阪市	107	94	13	113.8%	明和町	20	25	-5	80.0%
桑名市	91	85	6	107.1%	大台町	12	7	5	171.4%
鈴鹿市	70	61	9	114.8%	玉城町	9	5	4	180.0%
名張市	58	61	-3	95.1%	度会町	8	9	-1	88.9%
尾鷲市	11	4	7	275.0%	大紀町	1	6	-5	16.7%
亀山市	23	23	0	100.0%	南伊勢町	5	6	-1	83.3%
鳥羽市	7	7	0	100.0%	紀北町	15	13	2	115.4%
熊野市	24	29	-5	82.8%	御浜町	10	11	-1	90.9%
いなべ市	76	52	24	146.2%	紀宝町	12	6	6	200.0%
志摩市	19	15	4	126.7%					
伊賀市	42	61	-19	68.9%	県内不明	31	38	-7	81.6%
木曽岬町	7	8	-1	87.5%	県外・不明	94	88	6	106.8%
東員町	48	39	9	123.1%					
菰野町	40	46	-6	87.0%	合計	1,426	1,298	128	109.9%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。